

富山県

富山県印章業組合

廃印約200本余りを供養

富山県印章業組合(田村才一組合長 組合員23名)は10月1日(月)、富山県中新川郡上市町の「真言密宗大本山 大岩山 日石寺」に於いて印章供養を実施した。折からの台風16号の接近による風雨が心配されたが曇天ながら、組合員11名が参列し、定刻午前10時より式典を執り行うことができた。



会場の日石寺様に直接寄せられたものや、加盟店に寄せられた各種約200本余りの不要となった印章や木製の表札等を、真言密教の撥遣の御作法(魂を抜く作法)により供養した。同寺の中田弘乗管長による読経の中、寶印の塔横の印章塚(昭和62年富山県印章業組合創立50周年記念事業にて建立)に組合員の手により無事納められた。

新型コロナの影響もあってか例年に比べれば少ない人数ではあったが、県内外から参詣に来られた信者の方たちと共に午前11時より本堂内で行われる護摩祈禱に参列して、組合の発展、組合員の繁栄と健康並びにコロナウィルスの早期終息を祈念した。

例年なれば日石寺隣の大岩館に場所を移し、昼食会の席上で様々な報告が行われるところなのだが、新型ウィルスの感染予防の観点から昨年に引き続き、今年も中止とした。